2023　年度 授業計画(シラバス)

学　科	臨床工学技士科(昼間部)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科目名	設計製図	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15　(1)　時間(単位)
対象学年	3年次	学期及び曜時限	後期	教室名	
担当教員	平井　三友	実務経験とその関連資格	大阪府立大学工業高等専門学校に令和2年3月まで31年間勤務し、教授として加工工学を教授。		

《授業科目における学習内容》

講義で設計製図の基礎となる製図法等について解説し、演習を行う。

《成績評価の方法と基準》

演習課題の提出を行う。その評価点:70%
出席評価20%。小テストなどによる平常評価10%。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:JISにもとづく標準製図法(理工学社)

《授業外における学習方法》

教科書や配布プリントを事前に読んでおくこと。
授業で行った演習の提出物を完成させて提出すること。

《履修に当たっての留意点》

図面を読む力がつくと各種機器を取り扱ううえで有用となり、製品や機器の取り扱いに対して迅速に対処することができるようになることが期待される。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	製図の基礎について説明できる。	教科書	教科書を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	製図概論、製図用具、線の種類、投影法について学ぶ。		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各種投影法について説明できる。	教科書	教科書を読んでおくこと。 課題を仕上げておくこと。
		各コマにおける授業予定	投影法について学ぶ。演習課題として図面をかく。		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第三角法について説明できる。	教科書	教科書を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	第三角法、補助図法について学ぶ。		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	断面帆について説明できる。	教科書	教科書を読んでおくこと。 課題を仕上げておくこと。
		各コマにおける授業予定	断面法について学ぶ。演習課題として図面をかく。		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	寸法記入法について説明できる。	教科書	教科書を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	寸法記入法について学ぶ。		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第三角法で課題とする物体を製図できる。	教科書	教科書を読んでおくこと。 課題を仕上げておくこと。
		各コマにおける授業予定	演習課題として図面をかく。		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	公差、はめあい、仕上げ記号について説明できる。	教科書	教科書を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	公差、はめあい、仕上げ記号について学ぶ。		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	等角投影法で課題とする物体を製図できる。	教科書	教科書を読んでおくこと。 課題を仕上げておくこと。
		各コマにおける授業予定	演習課題として図面をかく。		